

# APEC(アジア太平洋経済協力)とは



設立

1989年

目的

アジア太平洋地域の持続可能な成長と繁栄

主要活動

貿易投資の自由化・円滑化、  
経済・技術協力、等

特色

協調的自主的な行動  
開かれた地域協力

参加メンバー

21の国・地域

オーストラリア、ブルネイ、カナダ、チリ、中国、中国香港、インドネシア、日本、韓国、マレーシア、メキシコ、ニュージーランド、パプアニューギニア、ペルー、フィリピン、ロシア、シンガポール、チャイニーズ・タイペイ、タイ、アメリカ、ベトナム

# APEC食料安全保障に関する新潟宣言



(第1回APEC食料安全保障担当大臣会合 2010年10月、新潟)

## 共通目標

### 持続可能な農業の発展

食料供給力の拡大  
農業災害対応の改善  
農村地域の振興  
環境課題への対応

### 投資、貿易及び市場の円滑化

農業投資の促進  
食料及び農産物の貿易円滑化  
農産物市場の信頼性の強化  
アグリビジネス環境の改善  
食品安全措置の改善

## 食料安全保障に関するAPEC行動計画

(62の行動)

情報プラットフォームの構築、各種ワークショップの開催、等

2010年

2014年

# アジア太平洋食料安全保障情報プラットフォーム(APIP)構築事業

【予算額:23年度 46百万円、24年度 41百万円】

- ・食料問題が世界的な課題になっている中、アジア太平洋地域においても、開発途上国を中心に世界の栄養不足人口の3分の2が存在し、将来的には人口増加や食生活の向上等により食料需給が不安定化する可能性があることなどから、食料安全保障の確保は同地域の持続的発展を図っていく上で重要な課題。
- ・また、同地域の食料安全保障の取組強化に向けて、2010年10月にはAPEC(アジア太平洋経済協力)として初めての食料安全保障担当大臣会合が開催され、具体的な取組を内容とする行動計画が採択された。
- ・このため、APEC食料安全保障担当大臣会合で定められた行動計画の実施等、**アジア太平洋地域の各国が実施する食料安全保障の取組を支援し、域内の食料安全保障の確保に貢献するためのプラットフォームの構築事業**を平成23年度より開始。今後、更に機能強化。

## ○調査・分析

- ・情報プラットフォームに必要な情報・項目等について現状調査・分析の実施

## ○行動計画の実施状況のフォローアップ、食料安全保障強化のためのワークショップの開催

- ・行動計画の実施状況のフォローアップ、新たに必要な取組の検討、情報収集・共有方法の検討を行う会議の開催
- ・ベストプラクティス、経験等の有用な情報の交換等を行うためのワークショップの開催

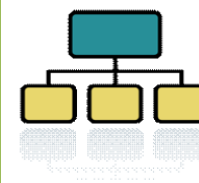


## ○情報の発信体制の整備

- ・各国関係者がアクセスできるウェブサイトの開設

## ○情報活用のためのサービス提供

- ・情報プラットフォームによる情報を活用した取組を支援するための翻訳サービスの提供



食料安全保障に関する情報(例 農業生産技術、農業インフラの整備・管理、農村の開発、農産分野の防災・減災対策、農産物需給、農産物の在庫・品質・備蓄)の共有

～行動計画に基づく取組の成果、ベストプラクティス、経験、調査研究結果、統計データ、関連制度、既存関連サイトへのリンク等～

アジア太平洋地域の食料安全保障に関する取組の進展

## 食料安全保障 担当大臣会合

5月30日～31日、カザン

## 貿易大臣会合

6月4～5日、カザン

## 閣僚会議

9月5～6日、ウラジオストク

## 首脳会議

9月8～9日、ウラジオストク

## 食料安全保障に関するカザン宣言

- 引き続き「新潟宣言」の食料増産等に取り組む
- 更なる食料安全保障のために以下に焦点
  - ①農業生産の増大と生産性の向上
  - ②貿易円滑化と食料市場の発展
  - ③食品の安全性と品質の向上
  - ④社会的弱者の食料へのアクセスの改善
  - ⑤違法・無報告・無規制漁業及び関連する貿易の阻止

貿易・投資の自由化、地域経済統合

食料安全保障の強化

信頼できるサプライチェーンの構築

技術革新による成長促進への密接な連携

とりまとめ

